

大泉高校新聞

定例生徒総会報告

【発行所】区馬5-3-1等会員(0318)久東京大泉大學生委員(924)久島東京都立校新聞(2-8)

| | |
|------------|--|
| 記者席 | 1 委員会報告 各委員会の委員長から の、現在の活動状況の 報告。 |
| 2 選管から | 新執行委員の選出選挙 について。 |
| 3 会計から | 前回の生徒総会におい て質問の出た「特例予 算」などの会計用語の 説明。 |
| 4 前期執行委員から | クラブ・委員会につ いて、前回生徒総会にお いて質問されたことの 回答。 |
| 5 自由討論 | △委員会▽ 各委員会の委員長の 承認のもとで月一回 開かれている委員長 会について。 |

去る五月一日に、昭和六十一年度の生徒総会が行われた。内容的には過去の生徒総会とそつ変わることはなかったが、やはり全体的に私語が目立ち、「聴く」生徒側と「聴かせる」執行・議長側との間のミソを改めて再認識させられたような会であった。

（略）

照してみても、生徒総会の記事に「私語が多い」という文句がお目見えしていないことは、ないに等しい。中学の時のように、先生が壇上に駆け上がり「静かにしなさい！」とやらないはダメなのである。

しかし、大泉の良いところは、生徒の自主性による自由である。そのところを上げり「静かにしなさい！」

（略）

柔道に体重制が本格的に導入される以前のこと、体格が同年代の平均にも満たない新入生が柔道部に入った。彼は、身体こそ大きくなかつたが、スポーツ万能と自負していたふしがある。事実、中学までは野球部のエースとして絶妙のコントロールでカーブを投げ、シャープな振りで四番を打っていたし、鎮守の森の奉納相撲でも、千代の富士ばかりの速攻で横綱だったといふ。

彼も、柔道部をすんなり決めたわけではない、それまでに柔道の経験がなかったし、勉強との両立にも不安があった。また、息子のけがやテストの成績を心配する母親の心情はいつの時代も同じであろう。ひとたみに若者らしい願望もあった。文庫本を片手に、長い脚を器用に組み、長髪をかき上げながら、ふと物思いにふける自分を見たり、テニスやスキーをさりげなくこ

なす、キラキラした青春もイメージしていたのである。高校の柔道部は、旧制中学以来の伝統があり、インターハイにも度々出場している名門である。二・三年生は、全員黒帯を絞め、エキスパンダード(当時流行のトレーニング器具)の広告モデルのようにシャープな振りで四番を打っていたし、鎮守の森の奉納相撲でも、千代の富士ばかりの速攻で横綱だったといふ。

こういう前おきもなく、突

然体育館で、見知らぬ名前を聞かされ、それに○か×を、思うままに付けている人が大半だったのではないか。選挙管理委員は、こういう運びとなつたが、何故立候補者がこんなに少なかつたのか。やはり、皆が関心を持っていないからだろう。運びを持てていないのは何があったのかはかるうか。

この学校の生徒が、冷めていたのは、ついこの間の役員選挙のことだった。結局、欠員のまま成立了。けれども、立候補者がこんなに少なかつたのか。やはり、皆が関心を持つてないからだろうと思う。

関心を持つてないのは何

までに柔道の経験がなかつたし、勉強との両立にも不安があった。また、息子のけがやテストの成績を心配する母親の心情はいつの時代も同じであろう。ひとたみに若者らしい願望もあった。文庫本を片手に、長い脚を器用に組み、長髪をかき上げながら、ふと物思いにふける自分を見たり、テニスやスキーをさりげなくこ

なず、キラキラした青春もイメージしていたのである。高校の柔道部は、旧制中学以来の伝統があり、インターハイにも度々出場している名門である。二・三年生は、全員黒帯を絞め、エキスパンダード(当時流行のトレーニング器具)の広告モデルのようにシャープな振りで四番を打っていたし、鎮守の森の奉納相撲でも、千代の富士ばかりの速攻で横綱だったといふ。

こういう前おきもなく、突然の選挙運動が、全く見られず、選挙公報ももらわず、記者もいつが投票日なのか知らないかったのだ。こういう前おきもなく、突

然体育館で、見知らぬ名前を

力と精神力が屈折した自信となり、新入部員にとっては無気味な迫力のようなものが感じられた。柔道場は、戦災を免れた本格的な建物であったが、寒稽古では、隙間から吹き込んだ雪を払うほど換気が良く、朽ちた根太には、自然のスプリング効果があった。新入部員は、例年のようにスヤスキーをさりげなくこ

なず、キラキラした青春もイメージしていたのである。高校の柔道部は、旧制中学以来の伝統があり、インターハイにも度々出場している名門である。二・三年生は、全員黒帯を絞め、エキスパンダード(当時流行のトレーニング器具)の広告モデルのようにシャープな振りで四番を打っていたし、鎮守の森の奉納相撲でも、千代の富士ばかりの速攻で横綱だったといふ。

こういう前おきもなく、突

然体育館で、見知らぬ名前を

釣り合いな大きさの自負心で初稽古に臨んだのであるが、その存在感は、運動会で我が子の勇姿を探す親の目でも見つからないほどであつたらしく、稽古に入る前、主将の声はない。しまいには、モアを交えて、緊張をほぐし

た。新入部員は、例年のようにスヤスキーをさりげなくこ

なず、キラキラした青春もイメージしていたのである。高校の柔道部は、旧制中学以来の伝統があり、インターハイにも度々出場している名門である。二・三年生は、全員黒帯を絞め、エキスパンダード(当時流行のトレーニング器具)の広告モデルのようにシャープな振りで四番を打っていたし、鎮守の森の奉納相撲でも、千代の富士ばかりの速攻で横綱だったといふ。

こういう前おきもなく、突

然体育館で、見知らぬ名前を

少なかつたし、柔道部員の先輩もいないのだからと納得し、（太ももの後）が寒鰐の腹のように膨んで組めず、松の古木のような坊主頭には、かき上げる長髪にかわって、寝技でもまれたヨレザ耳がバランス良く鎮座している。同期の仲間が縮の歯の古木のような坊主頭には、かき上げる長髪にかわって、寝技でもまれたヨレザ耳がバランス良く鎮座している。稽古に入る前、主将の声はない。しまいには、モアを交えて、緊張をほぐし

た。同期の仲間が縮の歯の古木のような坊主頭には、かき上げる長髪にかわって、寝技でもまれたヨレザ耳がバランス良く鎮座している。稽古に入る前、主将の声はない。しまいには、モアを交えて、緊張をほぐし

が過ぎた。

彼の脚は、大腿四頭筋

が過ぎた。

彼の脚は、大腿四頭筋

（太ももの後）が寒鰐の腹

（太ももの後）が寒鰐の腹

のように膨んで組めず、松

のように膨んで組めず、松

の古木のような坊主頭には、かき上げる長髪にかわって、寝技でもまれたヨレザ耳がバランス良く鎮座している。稽古に入る前、主将の声はない。しまいには、モアを交えて、緊張をほぐし

た。同期の仲間が縮の歯の古木のような坊主頭には、かき上げる長髪にかわって、寝技でもまれたヨレザ耳がバランス良く鎮座している。稽古に入る前、主将の声はない。しまいには、モアを交えて、緊張をほぐし

が過ぎた。

彼の脚は、大腿四頭筋

が過ぎた。

彼の脚は、大腿四頭筋

（太ももの後）が寒鰐の腹

（太ももの後）が寒鰐の腹

のように膨んで組めず、松

のように膨んで組めず、松

の古木のような坊主頭には、かき上げる長髪にかわって、寝技でもまれたヨレザ耳がバランス良く鎮座している。稽古に入る前、主将の声はない。しまいには、モアを交えて、緊張をほぐし

た。同期の仲間が縮の歯の古木のような坊主頭には、かき上げる長髪にかわって、寝技でもまれたヨレザ耳がバランス良く鎮座している。稽古に入る前、主将の声はない。しまいには、モアを交えて、緊張をほぐし

が過ぎた。

彼の脚は、大腿四頭筋

が過ぎた。

彼の脚は、大腿四頭筋

（太ももの後）が寒鰐の腹

（太ももの後）が寒鰐の腹

のように膨んで組めず、松

のように膨んで組めず、松

の古木のような坊主頭には、かき上げる長髪にかわって、寝技でもまれたヨレザ耳がバランス良く鎮座している。稽古に入る前、主将の声はない。しまいには、モアを交えて、緊張をほぐし

た。同期の仲間が縮の歯の古木のような坊主頭には、かき上げる長髪にかわって、寝技でもまれたヨレザ耳がバランス良く鎮座している。稽古に入る前、主将の声はない。しまいには、モアを交えて、緊張をほぐし

が過ぎた。

彼の脚は、大腿四頭筋

が過ぎた。

彼の脚は、大腿四頭筋

（太ももの後）が寒鰐の腹

（太ももの後）が寒鰐の腹

のように膨んで組めず、松

のように膨んで組めず、松

の古木のような坊主頭には、かき上げる長髪にかわって、寝技でもまれたヨレザ耳がバランス良く鎮座している。稽古に入る前、主将の声はない。しまいには、モアを交えて、緊張をほぐし

た。同期の仲間が縮の歯の古木のような坊主頭には、かき上げる長髪にかわって、寝技でもまれたヨレザ耳がバランス良く鎮座している。稽古に入る前、主将の声はない。しまいには、モアを交えて、緊張をほぐし

が過ぎた。

彼の脚は、大腿四頭筋

が過ぎた。

彼の脚は、大腿四頭筋

（太ももの後）が寒鰐の腹

（太ももの後）が寒鰐の腹

のように膨んで組めず、松

のように膨んで組めず、松

の古木のような坊主頭には、かき上げる長髪にかわって、寝技でもまれたヨレザ耳がバランス良く鎮座している。稽古に入る前、主将の声はない。しまいには、モアを交えて、緊張をほぐし

た。同期の仲間が縮の歯の古木のような坊主頭には、かき上げる長髪にかわって、寝技でもまれたヨレザ耳がバランス良く鎮座している。稽古に入る前、主将の声はない。しまいには、モアを交えて、緊張をほぐし

が過ぎた。

彼の脚は、大腿四頭筋

が過ぎた。

彼の脚は、大腿四頭筋

（太ももの後）が寒鰐の腹

（太ももの後）が寒鰐の腹

のように膨んで組めず、松

のように膨んで組めず、松

の古木のような坊主頭には、かき上げる長髪にかわって、寝技でもまれたヨレザ耳がバランス良く鎮座している。稽古に入る前、主将の声はない。しまいには、モアを交えて、緊張をほぐし

た。同期の仲間が縮の歯の古木のような坊主頭には、かき上げる長髪にかわって、寝技でもまれたヨレザ耳がバランス良く鎮座している。稽古に入る前、主将の声はない。しまいには、モアを交えて、緊張をほぐし

が過ぎた。

彼の脚は、大腿四頭筋

が過ぎた。

彼の脚は、大腿四頭筋

（太ももの後）が寒鰐の腹

（太ももの後）が寒鰐の腹

のように膨んで組めず、松

のように膨んで組めず、松

の古木のような坊主頭には、かき上げる長髪にかわって、寝技でもまれたヨレザ耳がバランス良く鎮座している。稽古に入る前、主将の声はない。しまいには、モアを交えて、緊張をほぐし

た。同期の仲間が縮の歯の古木のような坊主頭には、かき上げる長髪にかわって、寝技でもまれたヨレザ耳がバランス良く鎮座している。稽古に入る前、主将の声はない。しまいには、モアを交えて、緊張をほぐし

が過ぎた。

彼の脚は、大腿四頭筋

が過ぎた。

彼の脚は、大腿四頭筋

（太ももの後）が寒鰐の腹

（太ももの後）が寒鰐の腹

のように膨んで組めず、松

のように膨んで組めず、松

の古木のような坊主頭には、かき上げる長髪にかわって、寝技でもまれたヨレザ耳がバランス良く鎮座している。稽古に入る前、主将の声はない。しまいには、モアを交えて、緊張をほぐし

た。同期の仲間が縮の歯の古木のような坊主頭には、かき上げる長髪にかわって、寝技でもまれたヨレザ耳がバランス良く鎮座している。稽古に入る前、主将の声はない。しまいには、モアを交えて、緊張をほぐし

が過ぎた。

彼の脚は、大腿四頭筋

が過ぎた。

彼の脚は、大腿四頭筋

（太ももの後）が寒鰐の腹

（太ももの後）が寒鰐の腹

のように膨んで組めず、松

のように膨んで組めず、松

の古木のような坊主頭には、かき上げる長髪にかわって、寝技でもまれたヨレザ耳がバランス良く鎮座している。稽古に入る前、主将の声はない。しまいには、モアを交えて、緊張をほぐし

た。同期の仲間が縮の歯の古木のような坊主頭には、かき上げる長髪にかわって、寝技でもまれたヨレザ耳がバランス良く鎮座している。稽古に入る前、主将の声はない。しまいには、モアを交えて、緊張をほぐし

が過ぎた。

彼の脚は、大腿四頭筋

が過ぎた。

彼の脚は、大腿四頭筋

（太ももの後）が寒鰐の腹

（太ももの後）が寒鰐の腹

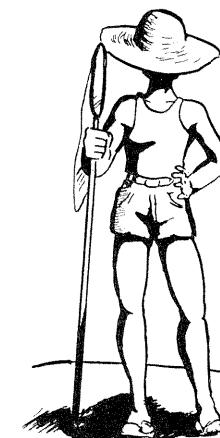
のように膨んで組めず、松

のように膨んで組めず、松

の古木のような坊主頭には、かき上げる長髪にかわって、寝技でもまれたヨレザ耳がバランス良く鎮座している。稽古に入る前、主将の声はない。しまいには、モアを交えて、緊張をほぐし

た。同期の仲間が縮の歯の古木のような坊主頭には、かき上げる長髪にかわって、寝技でもまれ

文芸欄



『作者は誰か「奥の細道』』

江戸俳壇の影

藤本

泉・著

松屋芭蕉が、当時陸奥と呼ばれた東北地方を旅したのは、元禄二年(一六八九)の旧暦三月終りから九月初めまでだった。『奥の細道』にはその間のことが記されている。そしてそれが刊行されたのは、彼の死後八年たった元禄十五年(一七〇二)のことだった。

ところが刊行後、実に二百四十二年を過ぎた昭和十八年(一九四三)になつて、芭蕉の旅にずっとついて行つた門弟曾良の日記が公表された。

これが今日『曾良隨行日記』の名で知られる作品である。

この二作品には旅程を始め、多くの相違点がある。この差は何なのだろう? 研究者達は、文章を美しくするため、つま

る人達が人生だと考へる中年男。

こんな、ちょっと変わつた人々のエピソードを

トキシングヘッズの素

晴らしいBGMにのせ

て、ナレーター兼孤

独なカウボーイでもあ

るデビッドバーンが解説しながら内容は進

んでいく。

しかし、時には一番シ

ルな映画では決してな

いし、興行的に狙つた

映画でもないからだ。

考えさせられる部分が

無い分、心に残るもの

が多く、印象が強烈だ。

映画を観ると観ないと

基に、ひとつの街で起

こりそうな、事件をス

ケッちにおこした。こ

うして内容がまとまり、ト

ウルーストーリー」が出来た

という訳である。

この映画の舞台はテキサス

が印象的であったが、それ以

上に登場人物が印象深かつた。

見て気が重くなつた人

はこの映画を推薦したい。

しかし、藤本泉はそれに對

し、次のような反論をあげて

いる。

「文章構造のためだけにし

ては、芬芳ではないか?

そこで、著者の独自の説、

『奥の細道』は、手記では

ない、芭蕉以外の誰かが芭蕉

の句とに聞をもとに旅行記を

創作したのだ」という説が登

場する。

本の後半部分の持論の展開

の仕方や、説得力には感心さ

せられる。最後には、代作者

(と見られる人物)の思想ま

でも述べられるのだが、そ

こへ行くまでの途中に、犯人

探しの推理的サスペンスと、

直接口をきかない夫婦。ラ

ンボーからケネディまであ

らゆる男が恋人だといふホ

ラ吹き女。結婚すること

その人生だと考へる中年男。

こんな、ちょっと変わつた

人々のエピソードを

観た。この映画を始めて観た

のは三年前、二本立てのうち

の一本という形で観たためか、

記憶が薄かった。改めて観て、

いい作品だと思った。

バイク・ボイ(ミッキー)

・ローラーは、かつてこの街

の組のリーダーであった。

組がつぶれてから姿を消

していったが、またこの街に戻

ってきた。弟のラスティ・ジ

アーヴィング・ペニン

・ヨー(マット・ディロン)は、

再び街をしきるうと言つた。

「バイク・ボイは、もう組

は要らないと言う。バイク

・ボイは色盲である。そ

せいか、彼の表情は、ク

ールで何を考えているか判ら

ない。一日中、ペットショッ

プで魚を見ていた。「ベタ

・ヤモンド熱病患者の一人だつ

た。そこで彼は採掘者を援助

していながらミヤと知り合

い、取り引きをした。パンダ

ミヤが資金を負担し、ジェミ

ーが労働を提供する。分け前

も平等。しかし、幾週間に

もまたがつた苦闘の日々――

思つてやつてきましたが今

はこれで精一杯です。(筒井)

編集後記

大泉の体育祭は、どうも他の高校と比べるとつまらないと思う。参加する時間より見ている時間が長いという

ことだ。そこまで、文

章を曲げるとい

うのか? はないか?

そこで、著者の独自の説、

『奥の細道』は、手記では

ない、芭蕉以外の誰かが芭蕉

の句とに聞をもとに旅行記を

創作したのだ

といふ説が一般的

に記されている。

それで、それが刊行されたのは、

彼の死後八年たつた元禄十五

年(一七〇二)のことだった。

ところが刊行後、実に二百

四十二年を過ぎた昭和十八年(一九四三)になつて、芭蕉の旅にずっとついて行つた門弟曾良の日記が公表された。

これが今日『曾良隨行日記』

の名で知られる作品である。

この二作品には旅程を始め、

多くの相違点がある。この差

は何なのだろう? 研究者達は、

文章を美しくするため、つま

らな

り

る

の

ことだ。

それで、それが刊行されたのは、

彼の死後八年たつた元禄十五

年(一七〇二)のことだった。

ところが刊行後、実に二百

四十二年を過ぎた昭和十八年(一九四三)になつて、芭蕉の旅にずっとついて行つた門弟曾良の日記が公表された。

これが今日『曾良隨行日記』

の名で知られる作品である。

この二作品には旅程を始め、

多くの相違点がある。この差

は何なのだろう? 研究者達は、

文章を美しくするため、つま

らな

り

る

の

ことだ。

それで、それが刊行されたのは、

彼の死後八年たつた元禄十五

年(一七〇二)のことだった。

ところが刊行後、実に二百

四十二年を過ぎた昭和十八年(一九四三)になつて、芭蕉の旅にずっとついて行つた門弟曾良の日記が公表された。

これが今日『曾良隨行日記』

の名で知られる作品である。

この二作品には旅程を始め、

多くの相違点がある。この差

は何なのだろう? 研究者達は、

文章を美しくするため、つま

らな

り

る

の

ことだ。

それで、それが刊行されたのは、

彼の死後八年たつた元禄十五

年(一七〇二)のことだった。

ところが刊行後、実に二百

四十二年を過ぎた昭和十八年(一九四三)になつて、芭蕉の旅にずっとついて行つた門弟曾良の日記が公表された。

これが今日『曾良隨行日記』

の名で知られる作品である。

この二作品には旅程を始め、

多くの相違点がある。この差

は何なのだろう? 研究者達は、

文章を美しくするため、つま

らな

り

る

の

ことだ。

それで、それが刊行されたのは、

彼の死後八年たつた元禄十五